

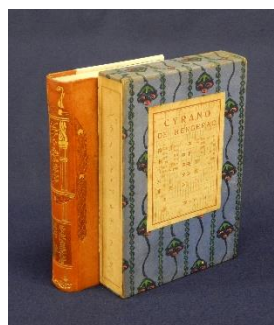
エドモン・ロスタン作『シラノ・ド・ベルジュラック』 Edmond Rostand *Cyrano de Bergerac*

兔に角俺達はベルジュラックを愛してみたからね
— 『シラノ』がつかないだ鈴木信太郎と辰野隆の友情 —

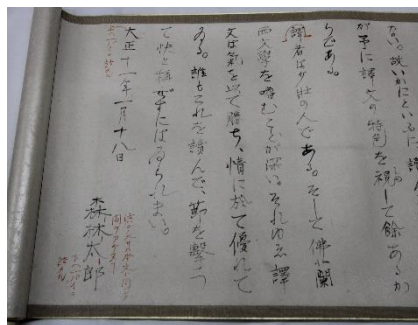
豊島区立鈴木信太郎記念館は、20世紀前半のわが国のフランス文学研究黎明期に、フランス文学・語学の研究体制を確立し、研究者および教育者として活躍した鈴木信太郎(1895-1970)の旧宅を改修・整備したものです。

フランス文学に関する常設展示のうち、「信太郎の愛蔵書」コーナーでは、稀覯本の蒐集家としても知られる彼のコレクションを紹介するため定期的に展示替えを行っています。

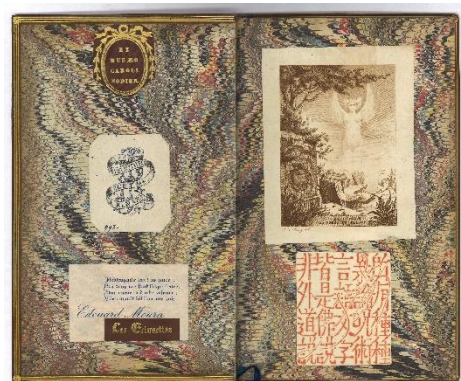
2020年6月2日(火)より、19世紀フランスを代表する演劇のひとつであり、信太郎が辰野隆(1888-1964)と共訳し完成からちょうど100年を迎えた今日でも名訳として親しまれているエドモン・ロスタン作の戯曲『シラノ・ド・ベルジュラック』(原作1897年)に関する展示が始まりました。文豪・森鷗外が翻訳本に寄せた序文の自筆原稿や、17世紀に実在したシラノに関する稀覯本など、同作品に関する信太郎ゆかりの品々をご紹介します。



1



2



3

- 1 鈴木信太郎・辰野隆(訳)/エドモン・ロスタン(作)『シラノ・ド・ベルジュラック』(初版)白水社、1922(大正11)年、当館蔵
- 2 鷗外が『シラノ・ド・ベルジュラック』に寄せた序文の自筆原稿、1922(大正11)年、当館蔵
- 3 シラノに関する稀覯本『シラノ・ド・ベルジュラック ポン・ヌフ橋畔にてプリオッシュの猿と格闘』(M.ルプフェル・ジュヌ書房、パリ、1704年)、当館蔵
表紙見返しに貼り付けられた信太郎(右下)やシャルル・ノディエ(左上)、ジュール・ルナル(左中)らの蔵書票

【会 期】2020年6月2日(火)から

【時 間】9:00-16:30

【休館日】月曜日(祝日と重なる場合はその翌日も)、第3日曜日、祝日、年末年始

【観覧料】無料

【アクセス】・東京メトロ丸ノ内線「新大塚」駅より徒歩約3分

・JR山手線「大塚」駅南口より徒歩約8分

・都電荒川線「大塚駅前」停留場より徒歩約8分

* 駐車場・駐輪場はございません。公共の交通機関をご利用ください



豊島区立鈴木信太郎記念館 MUSÉE SHINTARO SUZUKI

住所/東京都豊島区東池袋5-52-3 TEL/03-5950-1737

<https://www.city.toshima.lg.jp/129/bunka/bunka/shiryokan/suzuki/suzuki.html>